

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS まんのう



○事業所名	COMPASSまんのう			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～	令和7年 9月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れていております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	活動内容が固定化されないよう、職員間で意見を出し合いながら、季節を感じられる環境づくりや行事等の工夫をおこなっております。	季節ごとの行事をイベントとして取り入れたり、壁面飾りなどの環境づくりや制作内容を工夫しております。	季節ごとに異なる体験が出来るよう職員同士で意見を出し合いながら取り組んでまいります。
3	個別支援計画および専門的支援計画に基づき、児童一人ひとりの状況に応じた療育内容に取り組んでおります。	児童の発達段階を見極めながら、療育に必要な内容を職員が工夫して取り組んでおります。	一貫した療育が提供できるよう、保護者様のニーズをもとに職員間で密に情報共有をおこない、療育の質の向上を目指しております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がワンフロアのため、声が響きやすく、運動療育と並行して学習に取り組んでいる児童にとっては集中が難しい場面もあります。	事業所の構造上の課題によるものであり、環境の使い方を工夫しながら対応しております。	集中が難しい児童にはパーテーションを設置するなど、環境調整をおこなっております。 また、運動療育の時間と机上学習の時間を分けるなど、学習に取り組みやすい環境づくりに努めてまいります。
2	父母の会の活動支援や保護者会の開催、保護者同士が交流できる機会は現時点では設けられておりません。	保護者様の中には交流を希望される方とそうでない方がおられるため個別の家庭連携を通じて情報共有・ご相談・助言をおこなっております。	今後は家族支援の一環として、保護者様のご意向を踏まえながら交流の機会や開催方法について検討してまいります。
3			



公表日：令和8年3月12日